

水野質問 千葉県で予測される気候変動による影響はどうか？

森田知事 地球温暖化が最も進行する場合、今世紀末には20世紀末に比べて、**千葉県内の年平均気温が約4℃上昇し、1時間降水量50ミリ以上のいわゆる滝のように降る雨の発生回数が約3倍になると**予測されている(銚子地方気象台より)。

水環境分野では湖沼等における水温上昇に伴う水質の変化に対する懸念、農業分野では水稻の生育への影響や病害虫による被害拡大に対する懸念など様々な分野で影響が生じることが想定されている。



水野質問 気候変動適応法の施行に伴い、地域においても適応の強化が求められている中、都道府県は、管下の市町村における地域気候変動適応計画の策定及び実施の促進を図るため、率先して気候変動適応に関する施策を推進するとともに、市町村に対する技術的な助言等を行うよう努めることとなっている。千葉県では気候変動による影響を踏まえ、どのような取り組み方針を掲げているのか？

森田知事 三方を海に囲まれた豊かな自然を有し、首都圏の一角を占めている本県の自然的・社会的状況を踏まえ、幅広い分野で影響等を整理。
●水環境分野→印旛沼や手賀沼等の水質改善に向けた取組の推進。
●農業分野→高温による生育障害等を軽減するための技術の開発・普及や病害虫の発生予察。
今後も気候変動による影響に関連する県内の減少を継続して把握し、最新の科学的知見と合わせて庁内で情報共有するとともに、柔軟に施策を見直していく。

2 手賀沼の環境保全について(特定外来生物対策)

水野ゆうきはこれまで質問の機会の度に手賀沼で確認されている外来水生植物の対策について質問を行ってきました。現在手賀沼ではナガエツルノゲイトウのみならず、2017年にはオオバナミズキンバイ(滋賀県は2016年度に駆除に3億3千万円を投入)が手賀沼において発見され、その勢いはとどまることを知りません。



水野質問 手賀沼においても手を打たなければ近い将来、多額の対策費用が必要になるだけでなく、手賀沼の環境保全に多大なる影響を及ぼしかねないと多くの市民団体や専門家も警鐘を鳴らしている。「**外来水生植物対策事業**」の進捗状況と今後の見通しは？

環境生活部長 県では、今年度から湖沼における外来水生植物の計画的な駆除を進めるため、管理手法の検討などを行っている。手賀沼において船やドローンを活用した水生植物の繁茂状況の調査や先行して駆除に取り組んでいる滋賀県の刈取り現場などの視察を実施。

今後はこの結果を踏まえ、今年度末までに群落ごとの駆除の優先度や手賀沼に適した効果的な駆除方法の選定を行うとともに継続的な駆除、管理を可能とするための市民団体等への支援方策についても関係者の意見を聞きながら検討する。

『グリーンインフラ』とは……

緑・水、土、生物などの自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用する取り組みのこと。

自立的回復力をはじめとする自然環境が持つ多様な機能を活用し、特に昨今の自然災害の頻発化・激甚化等の変化を踏まえて生態系を活用した防災・減災の側面でグリーンインフラを推進していくことは有効と考えられ、国土交通省気候変動適応計画では、適応策の基本的な考え方「自然との共生及び環境との調和」の中で**グリーンインフラ**を明確に位置づけ、更に令和元年7月4日に国土交通省は「**グリーンインフラ推進戦略**」を公表し、**グリーンインフラの活用を推進すべき場面として「気候変動への対応」が盛り込まれました。**

気候変動適応法では地域における適応の推進を進めることとしており、平成29年に環境省、農林水産省、国土交通省の連携事業として、国、地方公共団体、研究機関等が参画の下、「**地域適応コンソーシアム事業**」が開始されました。千葉県内における取り組みも先行調査として全国26か所のうちの一つとして「**気候変動による印旛沼とその流域への影響と流域管理方法の検討**」というテーマで採択!

水野質問 印旛沼における地域適応コンソーシアム事業の取り組みは、千葉県で今後グリーンインフラを活用すべき背景として挙げられている気候変動適応策の見本ともなる事業であると捉えている。印旛沼における地域適応コンソーシアム事業に県はどのように関わっているのか。また検討状況はどうか？

環境生活部長 県は適応策の検討に必要な技術的助言を行うために設置された学識経験者や行政等から構成される協議会の委員として参画。協議会では、気候変動影響予測の結果、21世紀末頃には、強い雨の発生頻度が増加することにより、**印旛沼へ流入する汚濁負荷量が増加し、水質に影響を与える可能性**があることなどが報告されている。この結果を踏まえ、低地排水路から高栄養塩水の排水量を減らす循環かんがいの活用など、5つの適応策メニューを選定し、その効果や社会実装方法について引き続き検討を行う。

水野要望 地域適応コンソーシアム事業は平成29年度からの3か年計画で今年度が最終の年になる。その間で主体的に研究を行った民間企業や地元大学などと**県は引き続き定期的な情報・意見交換を行う機会を持ち、検討された適応策メニューを県で活用するよう要望する!**

3 手賀沼湖岸堤防整備事業について

手賀沼を囲む湖岸堤は、我孫子市側の一部に計画堤防高YP+4.5mに満たない区間があり、その背後地は若松地区の住宅密集地を抱えることから、手賀沼全体の治水安全度向上のため、築堤工事を実施しています。

平成25年10月に発生した台風26号は、手賀沼湖岸堤を越流し、若松地区の住宅や道路に大きな浸水、冠水被害をもたらしました。最近各地で発生している異常気象による大雨や集中豪雨による水害を目の当たりにし、防災面で速やかに堤防の整備を進めるべきと考えます。



遊歩道の整備について

圧密が終了し、堤防の安定性確認後は、遊歩道の整備が予定されている。手賀沼湖畔の景観を見ながら散歩できる遊歩道となれば、不特定多数の多くの人々が利用することとなるが、プライバシーの侵害を不安視する住民もいる。事業者である県は、**管理用通路を堤防天端に整備**する予定とし、この堤防は住宅の2階に相当する高さとなることから、管理用通路を遊歩道として活用した場合、堤防沿いの住民に対するプライバシー保護が課題となるため、**管理用通路とは別に、堤防の沼側の低い位置に遊歩道を整備**することとし、具体的な位置や構造について我孫子市と調整を進め、工事の実施にあたっては、遊歩道や堤防整備の進め方などについて今後も住民への丁寧な説明に努めると県は答弁。

水野要望

手賀沼湖岸堤防については、工事が長期化しているが、安定性を確保した上で、防災面での安全と手賀沼の美しい景観の両面の実現に向けた整備を!

4 男女共同参画について

水野ゆうきが目指す男女平等

女性特有のライフサイクル(妊娠や出産など)によって仕事においてマイナス評価がされない制度や仕組みならびに環境を整えた上で、能力等によって男女平等に採用や出世の判断がなされること。



水野質問 様々な政策を実行し、県民へサービスを提供していくにあたり、女性の意見や視点が入ることは大変意義がある。千葉県女性職員活躍推進プランにおける管理職の女性割合に関する数値目標と女性管理職の人数とその割合は？

総務部長 千葉県女性職員活躍推進プランの対象である知事部局等における本庁課長級以上の管理職の女性割合に関する数値目標は令和2年度までに10%を目指すこととしており、平成31年4月1日時点の**女性管理職の人数は45人、割合は9.9%**。

女性特有のライフサイクルによる職業の不安定性

- 女性の正社員としての就業は結婚や妊娠、出産を機に25～29歳をピークに減少し、非正規雇用の比率が高まる。
- 子育てが一区切りした時期は高齢の親の介護が始まる時期となり介護離職をする45～64歳の女性は5万3千人に達する。
- 女性の就業率や正規雇用率に関して都道府県間でばらつきがあることが国で指摘されている。

千葉県男女共同参画センターの役割とその機能の在り方について

男女共同参画センターは昨年10月に千葉県都町合同庁舎へ移転しましたが、その役割や事業内容、場所等について十分理解している県民は決して多くありません。もっと幅広くたくさんの県民の方々に利用してもらえるような方策の展開が必要です。

また、事業内容についても、参加者が募集人数に達していない場合もあるので広報の充実、視野を広げた施策に取り組むよう質疑と要望を行いました。

